



# サーバス九州

日本サーバス九州支部会報 No.162 2014年8月9日発行 発行者：九州支部長

69年前の盛夏、広島上空で落とされた爆弾は Little boy, そして3日後、暦の上での初秋、長崎上空に落下されたのは Fat man, どちらもかわいらしいニックネームをつけられた凶暴な悪魔の火球でした。Little boy はウランの爆発力を Fat man は原子炉内でウランから製造されたプルトニウムの更なる破壊力を利用した原子爆弾です。両市は一瞬にして地獄と化し、20万人以上と言われる人々が命を落としました。

今日、8月9日は長崎の原爆忌。いろいろな祈りがささげられています。

長崎の高校生のグループは核兵器廃絶の一万署名活動を行い、その署名を国連に届ける取り組みをずっと続けています。彼らの合言葉は「微力だが、無力ではない」。「ミサイルより鉛筆を！」。

私たちのサーバスも声高ではありませんが、異なる文化をもった人たちを自宅に受け入れ、お互いの文化を理解し、友人になることによって、平和な世界を築いていこうとしています。違いをことさらに強調するのではなく diversity (多様性) を認め合い、sharing (分かち合い) を大事にして、為政者の思惑で簡単に変えられる平和ではなく、個人の心に根付く平和をと願って Servas を創設した若い peace builder たちにも思いを寄せてみたいと思います。

最近、日本の田舎に行ってみたい、田舎の人とも話してみたい、として九州に見えるトラベラーも増えてきているようです。そんな方々との交流もしっかり楽しんでいただければと思います。それがサーバスが提起している peace building 平和貢献活動でしょう。ありのままを紹介しあってください。

原爆忌に触発されて長くなりましたが、サーバス九州支部会報 162号 (2014年8月号) をお届けいたします。

8月号には以下の内容を載せています。

- 1 サーバス九州秋例会の申し込みを！
- 2 シリーズ「世界一周の旅」— その5 — ネパールつづき
- 3 トラベラー受け入れとステイ体験
- 4 お詫びとIT裏話
- 5 サーバス九州現況
- 6 サーバス九州連絡先等 (常掲)

## 1. サーバス九州秋例会の申し込みを！

前前号、前号と紹介しています秋例会が近づきました。台湾からは3名の方の申し込みがあります。せっかくだからということで10月上旬まで九

州各地を回りたいそうです。行きたいところがはっきりしたらホストをお願いすることになると  
思います。

韓国からは12名ぐらいの参加があるようです。こちらも詳細がわかったらお知らせしますので  
ホストをお願いします。

つるみ山荘の定員は40人。越えても何とかかなと思いますので、どしどしお申し込みください。

### 湯布院の秋の一日、みんなで自然と文化交流を満喫しましょう！

期日：2014年9月27日(土)～28日(日)午後4時現地集合。

場所：大分県湯布院・佐伯市つるみ山荘 (全館館借り切り予約)  
大分県由布市湯布院町川北993 TEL 0977-84-5236  
JR湯布院駅から徒歩21分(1.6キロ)車で6分。216号線経由

参加費：1泊2食、温泉付き7000円 (宿泊代+夕食+飲み物+朝食+その他)  
夕食はセルフクッキングです。  
みんなでバーベキューを楽しみましょう。

申し込み：8月20日ごろまでにご連絡ください。  
(連絡先はホストリストでご確認を)

## 2. シリーズ「世界一周の旅」(その5「旅の3日目～11日目」)

### <ネパールつづき>

熊本 T 会員

カトマンズを去ったあと、旅行スケジュールに沿ってチトアン国立公園、ポカラを旅行しました。旅行会社でお願いしたツアーだったので、移動は立派なバスを期待していましたがローカルな長距離バスでももちろんエアコンなし、備え付けの扇風機も壊れていて乗客のほとんどがネパール人でした。長いバス移動の途中、食事やトイレ休憩が何度かありましたが、私を大変困らせたのは香辛料入りの食事によりお腹の調子が思わしくなかったこと。トイレ休憩の度にトイレに駆け込む始末。そのおかげでお尻を水で清める方法をマスターしました(笑)。なぜか同じ食事を取っている友人は一度もお腹を壊しませんでした。体のつくりの違いでしょうか・・・。

私たちが泊まったホテルは川沿いであって近くの農村では稲が植えられて牛が野を耕しているようなのんびりとした所でした。少し離れたチトアン公園には荷台に椅子を取り付けたトラックに乗っての移動。チトアン国立公園では像に乗って公園内の野生動物を見るツアーに参加しました。公園内には鹿や猿、サイやトラなどの動物がいるそうです。動物に出会えるのは難しいのですが、何とか草むらに寝そべっているサイと鹿を見ることができました。また沢山の像の飼育場所を見学することも出来ました。赤ちゃん像が沢山いてかわいかったのですが、足を大きな鎖で縛られているのはかわいそうでした。

ネパールは昼や夜の決められた時間は停電になりますが、観光地では冷たいビールやコーラを飲むことができます。これらは自家発電の冷蔵庫で冷やされたもので、暑い中、川べりでサンセットを見ながらビールの飲むのは最高の気分でした。太陽は一つしかないのですが、どうして見る場所によって色合いが違ってくるのでしょうか。チトアンで見た太陽は真っ赤に空を綺麗なオレンジ色に染めながら沈んで行き、水辺で草を食む像のシルエットが綺麗でした。

ヒマラヤ山脈の麓のポカラではのんびりレンタサイクルで街を散策しました。道は相変わらず凹凸ですが、観光地を離れて一般市民たちが買い物をする通りまで自転車を走らせました。沢山の店が並び食べ物や衣類、日用品が売られています。また屋台では色粉や神事で使用すると思われる小物などあり見えて空きません。友人がサリーを買いたいと言いつつ色とりどりの布を売るお店をいくつか回りました。日本では見かけない鮮やかな布がすでにサリーやバンジ

ジャンドレス用に売られています。私たちが布を選んでいると街を歩いていた英語が堪能な女学生が声を掛けてくれて、店の布を使ってサリーの着方を教えてくれました。こういったところもネパール人の親切さや人懐っこさを感じました。サリーはたっぷりの布を何度も折り返して着るためとても一人では無理と断念。友人と私はここでパンジャミドレスを仕立ててもらうことにしました。パンジャミドレスは上に着るワンピースと下に履くズボン、肩に掛けるストールで一式。それら全てを作るための布がセットで売られています。オーダーして2日後には出来上がってその当時で一着3000円くらいでした。既製品だと1500円～2000円で買えます。私はネパールで4着もパンジャミドレスを買ってしまったのですが、ワンピース部分の両脇が大きく割れていて涼しく、動きやすいので今でもお気に入りです

ポカラは景色も良く空気も澄んでいるのでのんびりするには良い場所です。マッサージのお店やカフェ、もちろんビールを飲む場所もありリラックスできました。

ポカラからは飛行機でカトマンズに戻りました。飛行機は今までにない小さなものですが、飛行中、ヒマラヤ山脈をずっと横目に眺める風景はココでしか味わえないものでした。

その後はカトマンズに泊り翌日は飛行機にてインド、バラーナスへ移動です。

では、今回はこの辺にて。

### 3. トラベラー受け入れとステイ体験

長崎 O 会員

イタリアはローマにお住まいのご夫婦と12歳の娘さん+娘さんと同年齢の従弟の男の子で構成された4人をホストしました。奥さんがたいへん「筆まめ」（キーボードでも「筆まめ」？）な方で2～3か月前から何回も問い合わせがあったので、初対面でも旧知のような感じでお迎えできました。

4人を受け入れていただけるところが少なかつたらしく、ホスト探しに苦労されたようです。我が家は人数の方は何とかカバーできるのですが、エアコンはないし、車は軽自動車ですので、駅までの送迎も思うようにいきません。ステイ依頼の時にその旨を率直に申し上げ、「よかったらどうぞ」という返事を送っていました。しばらく返事がなかったのが、旅程を変えられたかな、と思っていましたら、佐賀のH会員宅にステイしながら、その間に我が家を訪問し、長崎市を見学したいとのこと。車無しのone day tripではちょっとハード。それで、H宅に大きな荷物を置いて我が家に泊りステイ後、長崎に向かったら？と勧めました。

「田舎に行きたい」という要望をかなえてあげる点では我が家は合格なのですが、交通事情の方がよくありません。そこで同じ市内にお住まいのI会員に車での送り迎えを依頼し、我が家で一緒に食事をしていただくことにしました。I会員もサーバスの受け入れは初めてでしたが、トラベラー一家とも打ち解けられて楽しそうでした。食後は大人たちが談笑している間に子どもたちが食器の片づけ。「長旅で疲れているだろうからいいよ」と言ったら、お母さんが「余所の子どもたちはあまりお手伝いをしないけど、うちの子はやってくれるの」とうれしそう。ユニークな教育で知られるモンテッソリー学校教育を受けた感じのいい13歳の子どもたちでした。我が家の家庭菜園の野菜もたくさん食べてくれました。

このトラベラーを受け入れた翌日、私は所要で神戸と京都に出かけましたが、用事が済んだあと、京都のサーバス会員宅に今年新しく会員になってくれた友人と一緒にステイしました。友人にとってははじめてのサーバス体験です。この家庭では妹さんが自転車で20分ぐらいのところに住んでられるそうで、サーバストラベラーが見えるときは、二皿の料理をつくってきて交流を楽しまれるそうです。「京都は来訪者が多くて大変でしょう？」と言ったら、受け入れは月に4件までと決めて対応し、料理は自分は二皿つくるだけなので「たいしたことあらへん」というご返事。1月から新しくしているという大学ノートを使ったゲストブックはLOIの貼付や来客のコメントとで分厚くなっていました。

肩の力をぬいて周りの人を巻き込みながらトラベラーをお迎えするのはいいな～思った受け

入れと訪問体験でした。

#### 4. お詫びと IT 裏話

みなさんへの連絡に e-mail を使わせていただいておりますが、送信ミスや不備、ファイルが開かない等のトラブルが多く、いろいろご迷惑をおかけして申し訳ありません。私のウロタエ(?) を見かねられた N 会員がいろいろアドバイスをくださり、非常に助かりました。

メール転送でしくじったのは HTML 形式のメールをそれに対応していないメールソフトで送ろうとしたためと判明。また、会報のファイルが開かないのは新しく購入したパソコンに入っていたワードのバージョンがあがって拡張子が変わっているのに気付かずそのまま送ったため(バージョンを下げて保存すれば OK) と判明。それに対応したメーラーの対応や家庭内での wifi 利用(トラベラーに提供できるように)などをわざわざ Y 会員宅まで出向いて支部長と会計担当者に IT 特訓をしてくださいました。これで、みなさんにお届けしている会報のファイルが無事に開けるといいのですが……。その後、Y 会員宅も市販の無線 LAN 機器をいままであった有線 LAN と PC の間に入れることで、客人も wifi が使える環境になりました。N 会員のおかげで少しお利口になりました。ありがとうございました!

#### 5. サーバス九州現況

サーバス九州現況 (2014 年 8 月 9 日現在)

会員数 60 家族

<内訳: 大分 15、熊本 6、佐賀 4、長崎 10、福岡 14、宮崎 11>

\*\*サーバス九州では年度始め(1 月)に 1 年分の会費をいただいておりますので、途中で退会の申し入れがあっても年度末までは会員ですので、会報等お届けいたします。